
静内ケアセンターだより 2月 23日号

良いグループホームこそ経営環境が厳しい、良貨を朽ちらせるな・文責下川孝志

グループホームはショートステイができる！

厚生労働省の水谷室長(認知症施策推進室)は「9人の利用者だけでなく地域全体に、グループホームの潜在能力を還元してゆく・提案があればしてください」と述べているので提案したい。グループホームは認知症の受け皿であり、共用型デイサービスが「1ユニット3人まで」になり地域のニーズ応えやすくなった。デイサービスに通っている人との馴染みの関係が当然できるが、それらを含めた地域の人から「ショートステイ」の依頼があっても、「入院で空き室がない」場合に断っていた。認知症の人のショートステイは嫌がり受け皿が不足しているのが実情。グループホームの専門性を活かし、1名分でもいいからショートステイの介護保険対応が認められれば、地域の人に喜ばれる。予備室の多目的利用が可能となる。
